

東京都市大学

水素社会研究会 第2回セミナー

脱炭素社会の実現は喫緊かつ長期的課題ですが、水素は極めて重要な役割を果たします。東京都市大学・水素社会研究会は、製造、輸送、貯蔵、利用のサプライチェーン全体の連携強化により、水素社会実現に向けた産官学による取り組みを推進するため、2025年9月に設立されました。

第2回セミナーでは、経済産業省から水素を巡る最近の動きについて解説がある他、川崎重工業、三菱ふそうトラック・バス、日本水素ステーションネットワーク各社から水素社会推進にかかる取組みや本学研究内容を紹介します。その後、現状の課題、特にサプライチェーン上のボトルネックや、既存エネルギーとの価格差を埋めるための方策等についてパネルディスカッションで議論を深めます。

参加費
無料

Date 2026年 3月2日 月
15:00 ~ 17:00

Place TCU Shibuya PXU
(東京都市大学 渋谷パクス)

東京都渋谷区
道玄坂1丁目10-7
五島育英会ビル8階
渋谷駅徒歩5分



お申込み | お問い合わせ

右記QRコードあるいは下記URLから必要事項をご記入の上、お申し込みください(定員:先着70名)。

<https://peatix.com/event/4798794>



宇田川 法也

経済産業省 資源エネルギー庁
水素・アンモニア課
水素・燃料電池戦略室長



上野 貴則

川崎重工業株式会社
水素戦略本部 シンクタンク部
基幹職



ウィンゲルト アンドレアス

三菱ふそうトラック・バス株式会社
開発本部
アドバンスエンジニアリング部 部長



川崎 哲史

日本水素ステーション
ネットワーク合同会社
経営企画部長



伊東 明美

東京都市大学
理工学部 機械工学科
教授



兵法 彩

東京都市大学
環境学部 環境経営システム学科
准教授



菊池 武晴

東京都市大学
都市生活学部 都市生活学科
教授



基調講演

水素を巡る最近の動きについて

登壇者：宇田川 法也（経済産業省 資源エネルギー庁 水素・アンモニア課 水素・燃料電池戦略室長）

研究発表

水素エンジンコンバージョン車両の実装に向けた環境・社会経済性評価

登壇者：兵法 彩（東京都市大学 環境学部 環境経営システム学科 准教授）

パネルディスカッション

水素社会推進にかかる課題と対応策について

パネリスト：宇田川 法也（経済産業省 資源エネルギー庁 水素・アンモニア課 水素・燃料電池戦略室長）

上野 貴則（川崎重工業株式会社 水素戦略本部 シンクタンク部 基幹職）

ウィングルト アンドレアス（三菱ふそうトラック・バス株式会社開発本部アドバンスエンジニアリング部部長）

川崎 哲史（日本水素ステーションネットワーク合同会社 経営企画部長）

伊東 明美（東京都市大学 理工学部 機械工学科 教授）

兵法 彩（東京都市大学 環境学部 環境経営システム学科 准教授）

モデレーター：菊池 武晴（東京都市大学 都市生活学部 都市生活学科 教授）

※ プログラム終了後、登壇者等を交えた交流会（軽食あり）を実施いたします。是非ご参加ください。

登壇者・パネリスト・モデレーター 略歴

氏名	略歴
宇田川 法也	2024年7月より現職。弁護士（2007年登録）、ニューヨーク州弁護士（2017年登録）。プロジェクト・ファイナンス等の金融取引を取り扱い、資源・エネルギー分野においては、再エネ発電事業に関するスキーム構築、契約交渉等に関与。現職では、水素社会推進法の施行、価格差支援制度等に加え、水素導入を図る国々との国際交渉等を担当。制度設計や政策立案等、大局的見地からクリーンエネルギーの導入に取り組む。
上野 貴則	エネルギー企業にて、国内新規事業の企画立案、国際事業、海外のエネルギー・環境政策調査に従事。現在は川崎重工業(株)において、水素事業に関する技術調査や調査企画、業界団体・大学・研究機関との連携を担当し、水素サプライチェーン構築や水素社会の実現に向けた取り組みを推進している。
ウィングルト アンドレアス	2002年に米国マサチューセッツ工科大学（MIT）で機械工学の修士号を取得。2004年に独タイムラートラックへ入社し、先進運転支援システム（ADAS）の開発に約15年間従事。2020年より三菱ふそうトラック・バス(株)の先進技術開発部門の責任者を務め、商用車向け水素関連技術に取り組む。特に、液体水素の利用を促進し、コスト低減と水素輸送の実現を目指す。
川崎 哲史	1997年日本開発銀行（現日本政策投資銀行）入行。同行企画部門を中心に、九州支店、東北支店、国（内閣参事官、国土交通省）出向等を経て、2022年より現職へ出向。
伊東 明美	日野自動車(株)に15年超勤務しエンジンの研究開発に従事、武蔵工業大学と日野自動車の共同研究による水素エンジンバス開発では、日野自動車側窓口を務める。2009年11月より東京都市大学に勤務。エンジンによる環境負荷低減のため、二酸化炭素排出量削減を目的とした水素エンジンの実用化のための研究、排気浄化を目的とした潤滑油消費メカニズム解明のための研究などを手掛ける。公益社団法人自動車技術会理事。
兵法 彩	横浜国立大学大学院で博士（環境学）を取得後、東京大学プラチナ社会総括寄付講座を経て2023年4月より現職にてライフサイクル環境工学研究室を運営。ライフサイクル思考に基づく技術・システムの環境・社会経済性評価を通じて、科学的根拠に基づく意思決定支援に資する研究に取り組む。バイオマスを中心とする再生可能エネルギー技術やリチウムイオン電池の再資源化技術の評価などを実施。
菊池 武晴	日本政策投資銀行に20年超勤務し、企業の環境格付評価、イノベーション推進等を担当。途中、環境省出向、（一社）グリーンファイナンス推進機構（現脱炭素化支援機構）で再エネ投資等を担当。福井工業大学経営情報学部教授を経て、2025年より現職。研究では、再生可能エネルギーの地域経済活性化効果算出、地域公共交通の社会的価値評価等に取り組む。